

小 集 会

1. 第7回栽培系・環境制御系融合型施設園芸研究

日時: 3月20日(金) 13:20~15:20

場所: 講義棟1階 L0016教室

世話人: 岩崎泰永(農研機構野菜花き部門)

内容:

1. 「施設果菜類の生育を『モデル的』に捉える 一より良い試験区・測定項目の設定のために」

東京大 松田 怜

2. 「光合成の研究に関する用語, 単位, 測定方法」

農研機構 菅野 圭一

3. テーマ別フリーディスカッション(当日会場で希望テーマを募り, 4~5テーマを設定)

農研機構野菜花き部門 岩崎泰永・道園美弦, 岐阜大 嶋津光鑑, 東京大 富士原和宏

2. 園芸・育種研究の先進技術を考えるジョイント小集会

第1部:園芸学とウイルス学の異分野融合研究会#5 - 耐病性作物の創出を目指して先進育種技術を学ぶ -

第2部:園芸・育種研究における表現型データ取得の高度化の現状と展望

日時: 3月20日(金)12:00~15:30

場所: 13号館2階 L1321教室

世話人: 森谷茂樹(農研機構果樹茶部門)

概要: 育種に関わる技術について議論する2つの小集会の目的が合致することから共同で開催する.

第1部:「園芸学とウイルス学の異分野融合研究会#5」:園芸作物におけるウイルス性病害については, 極小な病原体であることや病原性の証明が困難であるために, 病害防除の大きな障壁となっている. 本小集会では, ウイルス耐病性作物の創出を目指して, 育種学分野から新たな技術や研究への利活用方法の情報を共有し, 園芸学の洗練された技術と融合することで課題の効率的な解決を目指す一助とする.

第2部:「園芸・育種研究における表現型データ取得高度化の現状と展望」:スマート農業に代表されるように, 現在, 農業に ICT が活発に導入され始めている. しかしながら, 園芸・育種研究の現場では, データの記録・取得にものさし, 野帳, 筆記用具といった伝統的な道具の利用がいまだに主流であるため, ICT を利用した効率化の余地が多く残されている. 本小集会では, 新技術を取り入れた表現型データの取得および記録に焦点を当て, 様々な取り組みを理解することで, 研究の現状と方向性について考える.

内容:

第1部:

講演1「異分野融合 -ウイルス耐病性作物の創出を目指して先進育種技術を学ぶ-」

琉球大農学部 関根健太郎

講演2「アブラナ科野菜育種へのゲノム編集の活用」

玉川大農学部 奥崎 文子・肥塚 信也

講演3「育種への重イオンビームの活用: What, Why & How」

量子科学技術研究開発機構量子医学・医療部門 下川 卓志

講演4「リンドウとリンゴでのHIMACでの重イオンビーム照射の実施例」

東洋大食環境科学部 佐々木伸大

第2部:

講演5「データ駆動型育種のためのデータ管理システムの開発」

東京大院農学生命科学研究科 岩田 洋佳

講演6 「カンキツ育種2.0における形質評価高精度化への取り組み」

農研機構果樹茶部門 野中 圭介

講演7 「FileMakerを利用したデータ収集 ～単純なAppから発展形まで～」

農研機構果樹茶部門 森谷 茂樹

講演8 「FileMakerを利用したデータ収集 ～福島県における電子野帳導入の試み～」

福島農総セ 三田村 諭

講演9 「(実践報告)イチゴ育種現場における電子野帳兼データベースシステムの利用」

農研機構東北農研 本城 正憲

3. 第52回「暮らしと園芸」を考える小集会

日時: 3月20日(金)15:00～16:20

場所: 講義棟1階 L0013教室

世話人: 松尾英輔(元東京農大)

内容:

半栽培における植物との関わり方からこどもの最善の利益を考える

フリースクールこどものSONORA代表, 前島根大生物資源科学部 山岸 主門

概要:

2019年1月からフリースクール「こどものSONORA」を茨城県牛久市で始めました. 子どもと関わるうえで意識していることを, 半栽培の畑の大根で例えると・・・

①畑全部を一斉に耕さない⇒ ごちゃごちゃ状態を楽しむ. 大人の都合で整地(プログラム)された見た目の美しさ・効率性に惑わされない.

②「種まき」「苗植え」に頼らない⇒ 前年のこぼれ種や掘り残したイモ等が自身で芽を出すのをゆっくり待つ, ちゃんと見出す.

③むやみに草を抜いたり刈ったりしない⇒ 草が伸びて大根が困っていたら, まずは草を少し倒したり折ったりして大根とのちょうどいい関係・バランスを一緒に探る.

④大根を全部抜かない⇒ 一部は残して, 蕾や花や実(鞘)も愛でて, 美味しく食べて全部楽しむ.

4. アスパラガス研究小集会

日時: 3月20日(金)15:00～17:00

場所: 講義棟2階 L0023教室

世話人: 柳井洋介(農研機構野菜花き部門)

内容:

香川県オリジナルアスパラガスの開発と栽培方法

香川農試 中村 智哉

RaaS モデルによる次世代農業パートナーシップ

Inaho(株) 大山 宗哉

5. 第21回ウリ科作物研究小集会

日時: 3月20日(金)15:00～17:00

場所: 講義棟2階 L0022教室

世話人: 川頭洋一(農研機構野菜花き部門)

内容:

・「茨城県におけるメロン育種の現状」

茨城農総セ生工研 八城和敏

・「ウリ科を取り巻く特許について」

タキイ種苗(株) 新 久紀

6. 「園芸作物バイオインフォマティクス入門 第2回」小集会

日時: 3月20日(金)15:00~17:30

場所: 講義棟3階 L0031教室

世話人: 白澤健太(かずさDNA研)

概要: 次世代シーケンス技術の普及以降, 情報解析は植物研究者にとって欠かせない技術になりつつある. この小集会では1名の専門家からの講演に加え, 情報解析を初めたばかりの3名の研究者が, 実際の解析プロトコルを苦労話や初心者が陥りやすい注意点を交えて紹介する. これがきっかけとなり, 自ら情報解析を始めてみようと思う植物研究者を増やすことが, この小集会のねらいである.

内容:

・「バイオインフォマティクスの理論と実際 ~ゲノム解読とアセンブル構築~」

農研機構 田中 剛

・「バイオインフォマティクス解析プロトコル ~GWAS~」

和歌山果樹試うめ研 沼口孝司

・「バイオインフォマティクス解析プロトコル ~RNA-Seq~」

農研機構 板橋悦子

・「バイオインフォマティクス解析プロトコル ~深層学習~」

岡山大 増田佳苗

7. 第14回伝統園芸研究会

日時: 3月20日(金)15:00~18:00

場所: 講義棟3階 L0033教室

世話人: 田中孝幸(東海大名誉教授)

内容:

基調講演1: 商品植木鉢の普及と江戸の園芸市場

江戸東京博物館 学芸員 市川寛明

概要: 今では園芸の必需品として広く販売されている植木鉢ですが, 植木鉢が商品として生産・流通・販売されるようになったのはいつ頃のことでしょうか? 植木鉢の歴史は人間の歴史とともに古いと思いますが, ポイントは商品化する時期です. そして商品植木鉢の登場は, 日本の園芸文化のあり方にどのような影響を与えたのでしょうか? この講演では, 作品・作家研究中心に展開してきたこれまでの文化史研究が, そのスタンス故に見落としてきた江戸時代の園芸文化の特質を商品植木鉢の登場という観点から論じてみたいと思います.

基調講演2: バラの軌跡をたどる -栽培バラの歴史とその遺伝資源まで-

岐阜県立国際園芸アカデミー 学長 上田善弘

概要: バラは有用植物として, 香料用, 観賞用に最も親しまれてきた植物の一つです. 人との関りは何千年以上も前にさかのぼり, 人類の歴史とともに歩んできた生きた文化遺産です. バラ属の野生種は南はエチオピア, 北はシベリアまで, 北半球の亜熱帯から寒帯にかけて広く, 約150~200種が分布します. この野生種のうちのわずか約10種から, 数万品種ともいわれる栽培バラが育成され, 多様なバラへと発展してきました. ここでは, これらの野生バラと栽培バラの変遷について紹介したいと思います.

8. 第29回日本イチゴフォーラム

日時: 3月20日(金) 15:30~18:00

場所: 講義棟3階 L0035教室

世話人: 野口裕司(農研機構野菜花き部門)

内容:

「災害からの復興を目指して~宮城県の取り組み~」

宮城農園総研 高山詩織

「第18回中国イチゴフェスティバル(済南)報告」

佐賀農試研セ 田川 愛

「中国におけるイチゴ品種開発の現状と将来展望」

北京市農科院林業果樹研 張 運濤

9. 第26回ネギ類研究小集会

日時： 3月20日(金)16:00～18:00

場所： 講義棟1階 L0012教室

世話人： 塚崎 光(農研機構東北農研)

内容：

講演1「タマネギケルセチンの健康機能」

農研機構食品部門 小堀 真珠子

講演2「茨城県のタマネギ栽培における水田転換畑導入に向けた取り組みについて」

茨城農総セ農研 橘 恵子

講演3「大阪府のなにわの伝統野菜「難波葱」について」

大阪環境農水総研食と農の研究部 瀬上 修平・山崎 基嘉

10. ISC(国際柑橘学会)日本支部集会

日時： 3月22日(日)13:30～14:00

場所： 講義棟2階 L0023教室

世話人： 島田武彦(農研機構果樹茶部門)

内容：

令和元年度 ISC(国際柑橘学会)日本支部総会の開催
(支部会の活動報告, 活動方針の審議・承認など)